

ごあいさつ



山陽特殊製鋼株式会社
代表取締役社長

武田 安夫

経営理念の「信頼の経営」を軸に、 CSR活動を進めています。

2012年6月28日をもちまして、山陽特殊製鋼株式会社の代表取締役社長に就任いたしました。

私は2005年から2年間、新日本製鐵株式会社の室蘭製鐵所長として、特殊鋼の製造に携わった経験があります。その際、技術集積度が非常に高い日本の特殊鋼は、将来発展するポテンシャルが大きく、ますます需要が拡大していく分野であると感じました。そして今、新興国の勃興による世界経済の多極化が進むなかで、それは加速度を増して現実のものとなりつつあります。

事業経営を行う限り、収益を上げることは重要ですが、それ以前に社会の一員であることを十分自覚し、高い倫理観をもって企業としての社会的責任(CSR)を果たすことが、企業には求められています。当社はそのことを肝に銘じ、経営理念として「信頼の経営」を掲げています。誠実・公正・透明な企業経営を実践し、経済的使命・社会的使命を果たすことで、あらゆるステークホルダーから「信頼」を得られる

企業となることをCSRの基本としています。

なかでも、ものづくり企業である当社にとって従業員の「安全と健康」は事業経営の大前提です。一人ひとりが安心して働くことができる職場をつくるために、協力会社も含めた安全体感研修や、健康管理に継続的に取り組んでいます。

また、従業員一人ひとりが法令はもとより、社会のルールや秩序を順守し、自律的に行動すべく、研修や制度を充実させ、「コンプライアンス」を推進しています。

ステークホルダーの皆様から期待される 経済的・社会的使命を果たしています。

2011年度を初年度とする第8次中期経営計画の重点施策として掲げた「新興国の需要拡大や低炭素社会の進展に伴う需要構造の変化の把握と的確な商品開発・市場投入」は、当社の経済的使命のひとつであると認識しています。2012年1月に、近年めざましい経済発展を遂げつつあるインドに、当社製品のマーケティング、販売、情報収集などを行う現地法人として、「Sanyo Special Steel India Private Limited」を設立し、同年4月に営業を開始しました。本拠点を通じて、インドおよび近隣諸国のニーズを的確かつ迅速に把握し、グローバルにビジネスを展開する需要家に、現地ニーズにマッチした高品質な特殊鋼製品を提供していきます。

また、2011年度は、社会的使命のひとつとして、小学生を対象とした工場見学会を初めて開催しました。これは事業をさせていただいている地域の皆様に感謝の気持ちを込めて、「子どもたちの育成を支援して地域の役に立ちたい」との思いから始めたものです。

そのほか、地域文化振興への寄与を目的として、財団法人山陽特殊製鋼文化振興財団を通じたニュー・イヤーズ・コンサートや文化講演会などを定期的に開催しています。今後はさらに、当社本社がある兵庫県姫路地区のものづくりを支援することを目的に、大学などの研究機関への助成金交付なども行います。

高機能かつ環境に配慮した 製品の開発・提供を通じて 低炭素社会の進展に貢献します。

2011年3月に発生した東日本大震災に端を発する電力供給不足問題は長期化の様相を呈し、日本で事業経営する全ての企業は節電という深刻な課題に直面しています。当社は「環境に優しいモノづくりの追求」を中期経営計画の重点施策のひとつに掲げ、省エネ・創エネにつながる製品を開発、需要家に提供しています。2011年秋には、風力発電機などに使用される大型ベアリングなどの市場への対応を加速させるべく、5,000トン自由鍛造プレス機を新設し、稼働を開始しています。

また、当社自身の節電・省エネルギー化にも引き続き取り組んでいます。照明の消灯や空調の温度調整の徹底など継続的な節電を実施するとともに、2011年夏にはクールビズに対応した女性用夏服を導入するなど、新たな施策も取り入れています。

さらに、2012年7月からは、第二製鋼工場に続き、第一製鋼工場でも連続鋳造設備を本格稼働させました。これは従来のインゴット鋳造設備に比べて生産効率が良いため、省エネルギー化をさらに推進することができます。

当社への「信頼」を高めるべく、 CSR活動において「夢サイクル」を 循環させていきます。

私の好きな言葉に「夢サイクル」があります。「夢のある人は目標がある。目標のある人は実行がある。実行のある人は結果がある。結果のある人は反省がある。反省のある人は対策がある。対策のある人は夢がある。」というものです。これは、強い目的意識を持ち、計画を立てて実行することで、夢が実現するということを表しています。

従業員一人ひとりが「自分の仕事、行動を通じて社会に貢献していく」という思いで業務に取り組むとともに、CSR活動においても「夢サイクル」を循環させることで、当社への「信頼」を一層高めたいと思います。

本報告書を通じて、私たちの活動内容をご理解いただき、一層のご支援とご助言を賜りますようお願い申し上げます。

第8次中期経営計画 (2011年度～2013年度)

■ 経営基本方針

「高信頼性鋼の山陽」の ブランド力の更なる向上による 企業価値の増大

- ◇ 技術先進性の拡大 せん せん 先の先へ
- ◇ 国際競争力の更なる強化
- ◇ 当社各部門(営業・技術・生産)及びグループ会社の更なる連携強化による総合力の向上

新興国経済の勃興による世界経済の多極化や低炭素化社会の進展による需要構造の変化等を危機と同時にチャンスとも捉え、非価格競争力をより一層高め、その上でコスト競争力の強化も同時に図ることにより、国際競争力のある企業体質の確立を目指す。

これをもって、将来の利益成長への確かな道筋をつける。また、事業基盤をより強固なものとするための諸施策や、健全な財務体質を維持した上での成長戦略の推進は従来通り実施する。

■ 重点施策

- 1) 新興国の需要拡大や低炭素社会の進展に伴う需要構造の変化の把握と的確な商品開発・市場投入
- 2) 適正なマージンの確保
- 3) 非価格競争力の更なる強化
- 4) 需要構造の変化に対応しうる上方弾力性の確保
- 5) 環境に優しいモノづくりの追求
- 6) 持続的成長を実現するための人材育成